理事	抱負
山根伸吾	このたび，引き続き日本作業科学学会の会長を務めることとなりました山根伸吾です。これまで皆様に支えていただきながら，学会の運営と活動に携わってまいりました。そのなかで，作業科学について学び，語り合い，そこから生まれた知を実践や教育，研究へとつなげていく場として，本学会が果たす役割の大きさをあらためて実感しています。これからも，会員の皆様の声に耳を傾け，世代や立場，地域を越えたつながりを育んでいきたいと考えています。また，作業科学に初めて触れる方から，長く学びを深めてこられた方まで，それぞれが関心を持って参加し，新たな気づきや対話を得られる学会づくりに貢献したいと思っています。作業科学を探究する喜びを皆様と分かち合い，私自身も学び続けながら，学会のさらなる発展に尽力したいと思います。今後とも，学会活動への積極的なご参加とご支援を，どうぞよろしくお願いいたします。
坂上真理	私はこれまで，本学会の前身組織の時代から副会長や事務局長として組織運営に携わり，今期は副会長を継続し，加えて国際交流班と事務局を担当することとなりました。現在，本会は研究会から学会へと移行し，社会的にも新たな役割を担う重要な転換期にあります。創設期から培った経験を活かし，作業科学によって創出される知識が，それを必要とする人々に広く伝わり，活用される仕組みづくりに取り組みたいと考えております。学会としてのさらなる発展と，本学会が作業に関する国内外の交流の場として活性化するように貢献したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。
中塚 聡	2018年より理事を務めさせていただき，今回は5期目となり最後の任期です。主に研究推進班，OSカフェの委員として活動してきました。理事になった当時は，数少ない臨床家という立場でしたが，この間，所属法人では管理者となり臨床だけでなく法人や職場の管理等を通して，社会の在り方を考える機会も増え，作業科学の視点の重要性やユニークさも再認識しました。日本の作業科学学会は世界の中でも会員に作業療法士が多い事を強みと捉えると，作業の知識を生み出す研究や，作業科学により生み出された知見が作業療法士の視点に豊かさを与えることに寄与できればと考えています。一方で，作業科学という学際的な学問には，作業療法士以外の立場の人達が増えることが重要であり，OSカフェ等での自由闊達な議論を通して裾野が広がることを期待しています。どうぞよろしくお願い致します。
伊藤文香	今年度から事務局長を拝命いたしました。私はこれまで，実践研修において作業科学と作業療法実践をつなぐ研修を担当してまいりました。事務局の仕事もまた，人と人，理論と実践をつなぐ役割だと感じております。会員の皆様が安心して学会に参加し，日々の実践から問いを持ち寄れるよう，丁寧でわかりやすい事務運営に努めます。作業科学の知が現場に根づき，現場の知が学問を豊かにする循環を，皆様とともに育んでいければ幸いです。
大下琢也	今期も昨期と同様，学会ニュースの発刊やホームページ・SNSの広報，実践研修を担当させていただきます。引き続き作業科学と学会の発展に寄与できるように尽力していきたいと思います。私自身，臨床家として作業について学び探求する上で，学会を通したつながりに支えられ助けられてきました。 今期は第30回となる節目の学会も予定されており，今度は自分がこの橋渡しに貢献できるように，発信と場づくりを継続していきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。
大谷将之	引き続き理事を務めることになりました大谷将之です。これまで基礎入門班，ホームページ，メーリングリストを担当しております。主に作業科学を初めて学ぶ方の入り口として基礎入門研修の企画・運営をしてきました。これからも作業科学を学び，親しむ機会を創出し，共に学ぶ仲間を増やしていけるように尽力をつくしていきたいと思います。さらなる学会の発展に向けて土壌づくりをしていければと思っております。今期もどうぞよろしくお願いいたします。
木口尚人	この度，本学会における事務局と研修会を担当することになりました。事務局としては，会員の皆様が円滑に学会活動へ参加できるよう，連絡，手続き，情報提供の体制を整え，学会運営を支えてまいります。研修会では，作業科学の知見を臨床や地域の実践に結びつける機会を広げたいと考えています。今年度は社会的処方をテーマに研修会を開催し，作業科学が，人々の作業への参加を支える社会的・環境的な条件を理解する視点として実践に生かせることを，会員の皆様と共有したいと思います。また，研修会を通じて，会員同士，ならびに地域や多職種の実践者との交流が生まれる場をつくってまいります。これらの取り組みにより，作業科学が会員の日々の実践の根底にある学問として発展するよう努めてまいりますので，どうぞよろしくお願いいたします。
齊藤隆一	作業科学基礎入門研修およびOSカフェを担当させていただきます。臨床・教育・研究をつなぐ架け橋となり，若手会員や学生が作業科学に触れ，学び，発信できる機会の創出に取り組んでまいります。また，会員同士が交流し，それぞれの実践や研究から互いに学び合える環境づくりを通して，日本作業科学学会のさらなる発展に貢献したいと考えております。会員の皆様とともに作業科学の可能性を探求し，その魅力と意義を広く発信できるよう尽力してまいります。皆様のご理解とご支援を賜りますよう，よろしくお願い申し上げます。
真田育依	私は，作業療法教育および研究に携わる中で，人がどのような作業を選び，意味づけ，日々の生活を形づくっているのかを捉える作業科学の視点の重要性を感じてきました。理事として，多様な立場の会員の皆様が，作業について問い，語り，学び合える場を大切にしながら，研究と実践の往還を支えていきたいと考えています。また，作業を個人の営みとしてだけでなく，社会や文化，環境との関係の中で捉える作業科学の魅力を広く発信し，日本における作業科学のさらなる発展に微力ながら貢献してまいります。
清田直樹	このたび理事を拝命し，作業科学の発展と学会活動の充実に貢献できることを大変光栄に感じております。作業科学の知見が，研究のみならず教育や実践，そして人々の生活を捉える視点として広く活用されるよう，その魅力と意義を発信していきたいと考えています。また，若手研究者や臨床家，学生が学会活動に参加しやすく，互いに学び合える場づくりにも尽力したいと思います。微力ではありますが，会員の皆さまとともに学会のさらなる発展に努めてまいります。

髙島理沙	今期も理事として活動する機会をいただき，ありがとうございます。研究推進班での活動を中心に，若手研究者や臨床家，初学者を含め，多様な立場の方々が作業科学を学び，対話し，研究の萌芽を育て，発展させていけるような場づくりに取り組みたいと考えています。また，国内外での研究・学術活動の経験を活かし，海外の知見を国内に還元するとともに，日本の作業科学の実践や研究成果を海外へ発信することにも貢献していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
高木雅之	学術誌の編集と国際交流の活性化を担当しています。現状，学術誌に掲載される研究論文や実践報告はまだまだ少なく，学術大会での国際交流もあまり活発とは言えません。今後は，作業科学研究の魅力を発信し，より多くの論文を投稿いただけるよう尽力します。あわせて，海外の作業科学に関する情報を会員のみなさんに届けるとともに，海外からも学術大会に参加してもらえるよう働きかけ，国際交流を活性化していきたいと思います。
西方浩一	作業科学の学術的発展に貢献したいと思い，日本作業科学学会理事に立候補いたしました。作業に関する知識の創出，共有，議論が行える学会を目指し，研修会や学術大会をはじめとした学術活動を推進できるよう努力したいと考えます。私はこれまで主に事務局として，会員管理や情報伝達，運営に携わってきました。今期はこれまで行ってきた業務の効率化とともに，他部門との連携，協力し，スムーズな学会運営並びにOSカフェの企画運営などを行っていきたいと考えます。
星野藍子	これまで多くの先人たちのご尽力の下で，培われてきた国内での作業科学の文化や土壌を大切に，たくさんの方が作業科学を知り，ともに考えながら学び，発展させていくような場や機会，つながりを作っていくことに貢献出来たらと思っています。学術関係を起点として，取り組んでまいります。作業の豊かさ，奥深さを一緒に探求していきましょう！どうぞよろしくお願いいたします。
安田友紀	1期目に引き続き，基礎研修，ニュース班を担当させていただきます。基礎研修は，新規・リピーターかかわらず毎回多くの方にご参加いただいており，作業科学を学ぶ入り口としての役割を担ってきました。今後は，作業科学を学び続けたいと思われるような魅力ある研修会にするため，参加者とのつながりを作る等の研修会内容の工夫や安心して受講していただけるような運営体制の整備を行っていきたいと思います。ニュースでは，本学会の1年間の動きを皆様にお伝えしてきましたが，1年間のまとめとして，また，学会のことを知っていただく1つのツールとして，更に内容を充実させたものをお届けできればと考えています。作業科学を学び語り合う仲間が増えるよう，今期も尽力して参ります。よろしくお願いいたします。